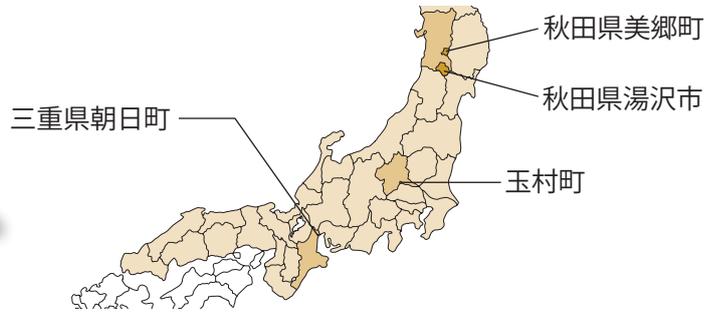


委員会視察 レポート



総務常任委員会

秋田県

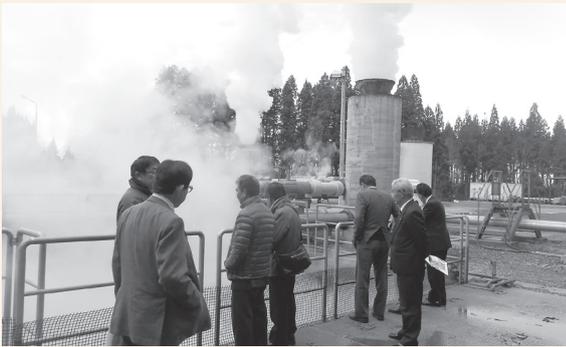
地熱発電と男女共同参画の先進地に学ぶ

11月12日、13日、秋田県湯沢市と美郷町を視察研修しました。

1日目の湯沢市では、上の岱地熱発電所を視察し、自然エネルギーの必要性を再認識しました。発電機1基で湯沢市全戸の供給を満足することでした。

2日目の美郷町では、男女共同参画の取り組みについて研修しました。

美郷町では男女共同参画社会基本法の公布に基づき、平成17年度から平成26年度までの10年間に「第1次美郷町男女共同参画みさと計画」を策定。「美郷町男女共同参画住民懇話会設置要綱」を施行し、平成27年3月には平成33年までの「第2



上の岱地熱発電所

次みさと計画」を「住民参加の推進」の施策に位置付けて策定したとの説明でした。美郷町では、行政を取り巻く関係団体の男女の構成比率は半々にしているとのことです。まちでも早急を実施すべく委員一同意志を固めました。

(委員長 山畑 祐男)

議会広報常任委員会

平成27年度 町村議会 広報研修会

東京都

10月20日、21日に東京のシェーンバツハ・サポーにおいて、全国町村議会広報研修会が行われました。

20日には、広報コンサルタントの小田順子氏による「議会広報誌の文章『伝える広報』から『伝わる広報』へ」と題した講演と地域活性化センター広報室長の畠田千鶴氏による「思わず手に取る、読みたくなる、議会だよりを目指して」と題した講演がありました。

21日には、広報サポーターの芳野政明氏による「優良広報クリニク」が行われました。

住民に読まれる広報にするため、記事の内容を端的に示した「見出し」の重要



平成27年度 町村議会広報研修会

性や、短い文章で結論を先に書くなどといったテクニクを学びました。今後の広報づくりに生かしていきたいと思えます。

(委員長 坂田 一広)

群馬県町村議会 広報研修会

前橋市

講演では、議事公開を始め、議会活動・情報が住民に伝わるまでが議会の仕事であるということを力説されていました。

(委員長 坂田 一広)

11月27日、県市町村会館において、町村議会広報研修会が開催されました。

人口増加と子どもの環境づくりを考える

10月27日、三重県朝日町を視察しました。

朝日町は、平成22年の国勢調査で人口増加率が35・3%と日本一人口が増加した町です。面積は5・99平方キロ、現在人口は1万367人です。

伊勢湾自動車道「みえ朝日IC」が開設し、大都市や工業地帯への交通の利便性が飛躍的に向上。丘陵地への住宅開発を進めたため、人口が増加しました。そんな中、子どもの数も増加。小学校は児童の急増に伴い、逐次プレハブ校舎を増築し対応していましたが、ただし現行の人口がピークで、今後は少子高齢化と共に

人口も減少に推移すると言われ、子どもの数も減少していくとのことでした。子ども達への環境づくり（特に箱物づくり）は、先

の見通しを考え緻密な計画の中で実施する必要性を痛感しました。

（委員長 馬場 周二）



幼保一体化施設「あさひ園」

下水道事業の概要を研修

11月18日、玉村町にある群馬県下水道総合事務所と上野田農業集落排水処理場を視察研修しました。

農業集落排水は、同じく集落を単位とした比較的小規模な下水道事業です。まちは、汚水処理人口普及率が93・9%で、県内第5位、汚水処理率も89・5%で2位となっています。水質保全を図るため、今回の研修を生かしたい。

（委員長 岩崎 信幸）

汚泥処理に関しては、汚泥発生量年間約3万3千ト、発生汚泥はすべて場外搬出され、セメント原料、法面緑化に再利用されています。現在の処理能力で、十分に10市町村の処理を行っていただけることでした。



県央水質浄化センター（玉村町）

町村議会議員研修会

群馬県町村議会議長会主催の研修会が、10月30日、吉岡町文化センターで開催されました。

はじめに、首都大学東京准教授の山下祐介氏による「地方消滅の罅（増田レポート）と人口減少社会の正体」と題した講演がありました。

増田レポートによると、2040年までに全国の市町村の半数が消滅するという

波紋に対し、地方を守るために必要な論理と再生に向けた道筋について話されました。

次に、伊藤塾塾長・弁護士伊藤真氏が「日本国憲法の理念」と題し、講演しました。

日本国憲法の基本理念は、憲法13条前段にあり、「すべての国民は、個人として尊重される」根本的価値はここにあるとのことでした。

今後の議会活動に生かします。

（議長 岸 祐次）



吉岡町文化センターで研修